

令和4年12月22日

# 校長室だより

第7号

座間市立相武台東小学校  
校長 浜田 佐織



## 今年の漢字は・・・「開」



残暑の中で始まった2学期が、積雪のたよりを聞きながら、終わりを迎えようとしています。毎年年末になると今年の一文字が話題になります。京都の清水寺で発表された今年の一文字は「戦」でした。戦争の恐ろしさを目の当たりにし、平和の尊さを強く感じた1年であったこと、円安・物価高による日々の生活での戦い、スポーツではサッカーワールドカップなどの熱戦や、座間市出身のプロボクサー井上尚弥選手の4団体統一戦への挑戦などがあったことが表れた一文字でしょう。

一方で私の今年の一文字は「開」です。続くコロナ禍の中でも、今年は、水泳・バス遠足・泊を伴う修学旅行やキャンプ等、多くの教育活動を再開することができました。こういった教育活動を通して、子どもたちは互いの交流を深めたり、机上では学べない学びを得たりと成長しました。

またコミュニティ・スクールが始まり、より地域に開かれた学校となり、学習ボランティア・音楽サロン・登下校の見守りなどがスタートしました。学校運営協議会委員の皆様のご尽力や、協力いただいた地域ボランティアの皆様には感謝いたします。

かけ算九九ボランティア(2年)

さらに本校が2年間取り組んできた、「書くことを通して考え、学び合う授業づくり」を公開発表することができました。市内の小中学校の教員の皆さんと研究を深められたことは大きな成果で、子どもたちの学力の向上や書く力の成長にもつながりました。



交流フェスティバル (児童会主催)



子どもたちの力で開催された、児童会主催の「交流フェスティバル」・「ほめあいプロジェクト」や体育委員会主催の「ドッジボール大会」、低学年の「おもちゃランド」等では、子どもたちの主体的行動と学年を超えた交流がありました。コロナ禍でも、楽しみは自分たちの手で創れるということを実感しました。子どもたちと教職員が力を合わせ「共に学び、共に楽しみ、共に成長する」そんな学校を展開することができました。

学校全体の成果については「開」の文字とともにお伝えしましたが、お子さん一人ひとりの成長、学びや生活のようすについては、個人面談で担任からお伝えしました。明日お渡しする「あゆみ」に評価されていることだけでなく、そういった内容も含めて、お子さんの頑張りを大いに認め、課題については、これからにつながるよう、励まし支えてあげていただきたいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆さま、地域の皆さまに、2 学期の様々な教育活動に対する、ご理解とご協力にあらためて感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染状況は、まだまだ収まりを見せませんが、健康で良い年末年始を過ごし、1月10日に元気な子どもたちと会えることを楽しみにしております。



## 相東小サポーターのみなさん、ありがとうございます！

2学期は相東っ子を応援してくださる皆さんのたくさんのイベントや取組がありました。子どもたちの笑顔があふれる時間をたくさん作っていただき、ありがとうございました。

### ナイトウォーク！（おやじの会）

12月3日（土）の夜は相東小がお化け屋敷に・・・！？子どもたちの元気な悲鳴と歓声があがりました。



### トロの森 クリスマス会（おはなし会）

12月の木曜日、2週にわたって低学年が「トロの森クリスマス会」に招待されました。クリスマスムードいっぱいの会場で読み聞かせ・手遊び歌などを楽しみました。



### 青少健まつり・ベルマーク品の寄贈

#### 広報「ひがし」発行等(PTA)

座間中の青少健まつりでは、たのしい催しを、ベルマークではポーツ品等をいただきました。校地内整備で校庭がきれいになりました。



このほかにも、コミュニティ・スクールの委員、ボランティアなど、相武台東小になくてはならない皆さんです。子どもたちがこれだけ多くの皆さんに支えられていることに幸せを感じます。

どの団体もメンバーを大募集中です。  
興味のある方は学校までご連絡を！

